

第5回 三妻地区意見交換会
「新たな地域コミュニティ」の実現に向けて
(令和7年2月8日(土) AM 実施)

ワークショップ：地域コミュニティ協議会で活動したい取組みを考えてみましょう

【1班】

<現状>

- ・三妻を愛する人が多い
- ・おやじの会が中断している
- ・多文化共生が外国人に特化したものではない

<こうなってほしい>

- ・三世代交流
- ・中高生との交流
- ・ふたつの地域の子ども会を合同で行う
- ・道の駅を活用しての活動を行う
- ・外国人住民のコミュニティへの参加
- ・料理教室⇒ひとり暮らし高齢者に参加してもらう

【2班】

<現状>

- ・高齢者から学ぶことも多い
- ・三坂地区⇒水防訓練ができる場所がある
- ・三妻小付近の老木が心配

<こうなってほしい>

- ・顔合わせの機会をつくる（新年会等）
- ・高齢者と若い方との交流の場をつくる⇒高齢者から子育て世代へ＝役立つ知恵
※味噌づくり、野菜づくり、漬物づくり等
- ・高齢者を対象とした事業の実施（集まれる場所の提供）
- ・要支援者の災害時の対応を対策
- ・外国籍の方を知ってコミュニケーションをとる⇒地域活動への参加
- ・子どもに民族衣装を着せて記念撮影する
- ・多国籍料理教室の実施
- ・イベント実施⇒ブース出展

- ・子ども神輿の復活
- ・公民館へ配布物の設置⇒班長が受取りに来館
- ・グループラインで情報伝達（班長同士で）
- ・LINEで避難訓練⇒読んだらスタンプ＝既読者がわかる
- ・地域の防犯対策（空き巣等）⇒青パトで抑止
※青パト：登録して2名で巡回、青サイレンの補助あり
- ・児童生徒下校時のパトロールを青パトで

<課題>

どういったコミュニティなら若者が参加する？

- ・メリットがある
- ・楽しいことがある
- ・気軽に参加できる
- ・役員を多めにする⇒地域の声をまとめるために必要

【3班】

<現状>

防犯

- ・外灯がなく夜は暗い、明るくないと怖い

保健福祉

- ・子どもの遊ぶ場所がない

環境衛生

- ・旧鬼怒中付近の側溝をなくしたい

<こうなってほしい>

防犯

- ・地域の集まりを増やす
- ・警察との連携⇒情報共有したことを地域へ発信
- ・空き家⇒除草等適切に管理
- ・外灯を増やす
- ・防災組織の拡大
- ・防災用品を避難所に常備する

保健福祉

- ・公園を増やしたい
- ・どこの子かすぐわかる地域づくり
- ・ひとり暮らし高齢者の見守り⇒どこに誰が住んでいるのか情報共有

環境衛生

- ・地区内で廃品回収を実施⇒活動資金をつくる
- ・ゴミ出しルールを守ってほしい

生涯学習

- ・地域住民間でコミュニケーションをとる機会の拡大

情報発信

- ・情報共有のための役割分担